

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業の概要

事業名	一般国道45号 上北道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	白：青森県上北郡六戸町大字犬落瀬 至：青森県上北郡東北町大字大浦		延長	7.7 km	
<p>事業概要</p> <p>一般国道45号は、宮城県仙台市から青森県青森市に至る延長約540kmの主要幹線道路であり、県都青森市と県内第二の都市である八戸市を連絡し、青森県内の社会経済活動を支える重要な路線である。</p> <p>上北道路は、一般国道45号において青森県上北郡六戸町大字犬落瀬から同郡東北町大字大浦に至る延長7.7kmのバイパスである。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>上北道路は、一般国道45号の交通混雑の緩和、事故の減少を図るとともに、地域間の交流・連携の活性化に大きく寄与するものである。</p>					
全体事業費	181億円		計画交通量	12,400台/日	
<p>事業概要図</p> <p>位置図</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 供用中 事業中 平成17年度新規事業化 調査中 					

<p>関係する地方公共団体等の意見</p> <p>上北道路は、一般国道45号の交通混雑の緩和、事故の減少を図るとともに、地域間の交流・連携の活性化に大きく寄与する事が期待されており、青森県知事より早期整備の要望（平成16年12月20日）を受けている他、多くの団体等から同様の要望を受けている。</p>	
---	--

<p>事業採択の前提条件</p> <p>費用対便益：便益が費用を上回っている。 手続きの完了：環境影響評価実施済み。H17年3月18日都市計画決定済み。</p>	
---	--

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.7	総費用：163億円 （事業費：131億円 維持管理費：32億円）	総便益：597億円 （走行時間短縮便益：520億円 走行費用減少便益：47億円 交通事故減少便益：29億円）	基準年：平成16年	
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策		<p>全国順位の上位2割に含まれる渋滞損失時間である当該区間の渋滞を解消する。 （現況：約7.9万人時/年km） 渋滞損失時間の改善 約125.0万人時/年 約113.0万人時/年 当該区間に並行する一般国道4,45号等のセキス区間の合計値 1kmあたり最大渋滞損失時間 約7.9万人時/年km（現況） 〔青森県平均：約1.0万人時/年km（約7.9倍） 全国平均：約2.0万人時/年km（約4.0倍）〕 県平均、全国平均はともに一般県道以上のセキス区間。 渋滞度曲線 全国センサス区間における順位の中で、上位2割に含まれる。 全国セキス区間は、一般県道以上を対象。</p>		
		事故対策		<p>青森県内直轄国道区間の単路・交差点における死傷事故率平均値の2倍以上が含まれる当該区間の事故の減少が見込まれる。（現況：約345.0件/億台キロ） 死傷事故率 約345.0件/億台キロ（現況）〔県内平均比=3.5（現況）〕 当該区間に並行する一般国道4号における最大死傷事故率 事故率曲線 青森県内直轄国道区間における死傷事故率の中で、上位1割に含まれる。 単路・交差点における死傷事故率平均値の2倍以上の区間が存在する。</p>		
	歩行空間	-	注目すべき影響はない。			
	社会全体への影響	住民生活		新幹線駅への利便性が向上する（上北町～JR八戸駅 53分 44分）		
		地域経済		農林水産品の流通の利便性向上 （大間漁港（いか・まぐろ）から東京市場への時間短縮に寄与する道路である：大間漁港～東京市場の所要時間11時間19分 10時間46分）		
地域社会			拠点都市間の連絡 （県都青森市と県内第2の都市八戸市とを連絡する路線である：青森市～八戸市の所要時間120分 102分）			
事業実施環境	-	注目すべき影響はない。				

採択の理由

費用便益比が3.7と、便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了していることから、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該事業箇所の現道における現況渋滞状況及び事故状況、事業実施による改善効果は大きいことから、渋滞・事故対策の必要性・効果ならびに拠点都市間の連絡等、社会全体への効果は高いと判断できる。
以上より、本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。